



Fukui SDGs Partner

ふくいSDGsパートナー



省資源と環境に配慮した、土に還る和紙カーテンを開発

株式会社カズマ（福井市）

SDGsに貢献！

- ・カーテン生地の廃棄をゼロにする新しいデザインや素材を考案
- ・生地から土、土から染料の生産へつながる資源循環を目指す



1.和紙を活用したカーテン「kami」 2.アロニア・コーヒーとその残りかすで染めた生地 3.「kami」が生分解している様子

取り組みのきっかけ

カーテンの製造過程でやむを得ず廃棄する生地は年間3.4万tともいわれています。そこで、廃棄生地を削減するために自然素材を使用し、プラスチックフックの代わりに生地に穴をあけ布紐を通して掛ける「KURASIKU」を開発。ヒダやタッセルがないデザインを考案したことでの廃棄ゼロが可能になりました。しかし、掛け替え後の古いカーテンは従来通り廃棄せざるを得なかったことから、さらなる対策として、土に還る素材の開発に取り組みました。

特に注力しているSDGsの取り組み

土に還るカーテン素材を探す中で福井にもゆかりがある『和紙』に出合い、消臭、調湿、抗菌、UVカットなどポリエステルに劣らない機能性に着目しました。天然染めにもチャレンジし、染料は食品廃棄物の活用にこだわりアロニア・コーヒーの残りかすを使用。試行錯誤の結果、和紙カーテン「kami」を開発し製品化にこぎ着けました。さらに、使用後の生地を土に敷いたり鋤き込んだりして微生物を増やし、有機の土壤に還す循環ステージに向かって注力しています。

担当者の思い

代表取締役社長 数馬 亜季子さん

以前は一方通行的に販売するだけでしたが、今は、使用した生地を土に鋤き込み、天然染めの材料になる植物を育てるなどの循環ステージが目標であると伝えることで、お客様の共感が得られていると実感しています。社内においても、この取り組みによって社員一人ひとりの意識が変化し、新たなSDGsの動きにつながっていると感じています。



Company Information

株式会社カズマ

住所 / 福井県福井市八重巻町105

事業内容 / カーテンを中心としたホームファッショ

商品の企画・製造・販売

創業年 / 1964年

代表者 / 代表取締役社長 数馬亜季子

従業員 / 262名

<https://e-kazuma.jp>

会社ホームページ